

国語科年間学習計画（1 学年）

教材「国語 1」（光村図書）

担当教諭：菅原 智広

学期	月	単元・題材名	学習活動
一学期	4	野原はうたう 花曇りの向こう	●気に入った詩をひとつ選び、気持ちを込めて声に出して朗読する。 ●人物の気持ちの変化をとらえ、題名に込められた意味を考える。
	5・6	わかりやすく説明しよう 漢字の組み立てと部首 ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 「好きなもの」を紹介しよう 情報の集め方を知ろう	●相手や目的を明確にし、わかりやすい構成を考えて書く。 ●漢和辞典を活用し、漢字の組み立てと部首を理解する。 ●段落の役割や筆者の説明の仕方の工夫について考える。 ●段落どうしの関係に着目して、文章の構成をとらえる。 ●話の構成や順序を工夫し、聞き手に分かりやすく発表する。 ●さまざまな情報の集めかたを知り、目的に応じた方法を考える。
	6・7	話し言葉と書き言葉 詩の世界 言葉のまとまりを考えよう 読書生活を豊かに	●話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ●詩の表現の特徴をとらえ、描かれた情景を想像する。 ●言葉の単位を理解する。 ●想像を広げる。
	8・9	星の花が降るころに 大人になれなかった弟たちに…… シカの「落穂拾い」 —フィールドノートの記録から	●場面の展開や描写に着目して作品を読み深める。 ●行動描写や情景描写に着目し、登場人物の姿を読む。 ●事実と筆者の考えとの関係を読み取り、筆者の考えの述べ方や図表の役割について自分の考えを持つ。
	10	調べたことを報告しよう 漢字の音訓 指示する語句と接続する語句	●調べた内容が分かりやすく伝わるように、文章にまとめる。 ●漢字の読み方について理解する。 ●指示語、接続語について理解する。
	二学期	10	月に思う 蓬萊の玉の枝—「竹取物語」から 今に生きる言葉
11		幻の魚は生きていた 話題や方向を捉えて話し合おう 根拠を明確にして魅力を伝えよう	●文章の要旨をとらえる。筆者の考えを基に、自分の考えを深める。 ●話題や方向を的確に捉えて、根拠を明確にして話し合う。 ●作品を鑑賞し、その魅力が伝わるように根拠を明確に文章にまとめる。
12		竹 言葉の関係を考えよう 書写 読書に親しむ	●表現の特徴を捉え、繰り返し声に出して読む。 ●文の組み立てについて理解する。 ●行書の特徴を理解して書く。 ●自分のものの見方や考え方を広げる。
1		少年の日の思い出 さまざまな表現方法 漢字の成り立ち	●登場人物の心情の変化を捉え、作品について自分の考えをもつ。 ●さまざまな表現方法を理解し、活用する。 ●漢字の成り立ちについて理解する。
2		印象深く思いを伝えよう 単語の性質を見つけよう	●自分の考えや気持ちを、相手や目的を考えながら書く。 ●単語の分類について理解する。
3		1年間の学びを振り返ろう ぼくがここに	●発表内容の構成を工夫し、聞き手の反応に注意しながら話す。 ●詩の言葉や表現を作者の思いを想像しながら読み味わう。

評価の観点と評価の場面

評価の観点	評価の場面
関心・意欲・態度	授業の様子、提出物、朝学習、学習後の感想
話すこと・聞くこと	授業の様子、ノート、プリント、定期考査
書くこと	授業の様子、ノート、プリント、定期考査
読むこと	授業の様子、ノート、プリント、定期考査
言語に関する知識	授業の様子、ノート、プリント、定期考査、漢字テスト、書写、朝学習